

# 目次

[概要](#)  
[前提条件](#)  
[要件](#)  
[使用するコンポーネント](#)  
[表記法](#)  
[スイッチのイメージ ファイル](#)  
[手順](#)  
[スイッチの起動](#)  
[ブート シーケンス](#)  
[コンソール設定](#)  
[スイッチのアップグレード](#)  
[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチ上で Cisco NX-OS をアップグレードする詳しい手順を説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- SCP およびこのプロトコルでファイルを転送する方法

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Nexus 5020 シリーズ スイッチ
- キックスタート イメージ n5000-uk9-kickstart.4.0.0.N1.2.bin
- システム ソフトウェア n5000-uk9.4.0.0.N1.2.bin

### 表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

## スイッチのイメージ ファイル

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチには次のようなイメージがあります。

- BIOS イメージおよびローダ イメージが 1 つに組み合わされたファイル
- キックスタート イメージ
- アップグレード可能な BIOS イメージを含むシステム イメージ

スイッチにはフラッシュメモリがあり、次の2つのフラッシュパーツから構成されています。

- 2つの BIOS イメージおよびローダ イメージが含まれる 2 MB のフラッシュ パーツ
- 設定ファイル、キックスタート イメージ、システム イメージ、その他のファイルが含まれる 1 GB のフラッシュ パーツ

アップグレード可能な BIOS およびゴールデン BIOS は、2 MB のフラッシュ部分にプログラムされています。ゴールデン BIOS はアップグレードできません。

キックスタート イメージとシステム イメージの新しいペアをダウンロードすると、新しい BIOS イメージもダウンロードされます。これは、BIOS イメージがシステム イメージに含まれているためです。install all コマンドを使用すると、キックスタート イメージ、システム イメージ、アップグレード可能な BIOS イメージをアップグレードできます。

## 手順

### スイッチの起動

Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチでは、電源コードを A/C 電源に差し込むとすぐにブート プロセスが始まります。このスイッチには電源スイッチがありません。

### ブート シーケンス

スイッチを起動すると、ゴールデン BIOS がアップグレード可能な BIOS のチェックサムを検証します。チェックサムが有効の場合、アップグレード可能な BIOS イメージにコントロールが移ります。アップグレード可能な BIOS はキックスタート イメージを開始し、次にそのキックスタート イメージはシステム イメージを開始します。アップグレード可能な BIOS のチェックサムが有効でない場合は、ゴールデン BIOS がキックスタート イメージを開始し、次にそのキックスタート イメージがシステム イメージを開始します。

スイッチで強制的にアップグレード可能な BIOS を迂回し、代わりにゴールデン BIOS を使用することができます。スイッチの電源を入れてから 2 秒以内に Ctrl + Shift + 6 を押すと、アップグレード可能な BIOS のチェックサムが有効であっても、ゴールデン BIOS を使用してキックスタート イメージが開始します。

#### 注

ブート シーケンスが始まる前に、BIOS はスイッチの内部テストを実行します。テストが不合格の場合、ローダにコントロールは移りません。その代わりに BIOS イメージがコントロールを保持し、30 秒ごとに 9600 ボーで、障害があることを示すメッセージをコンソールに出力します。

### コンソール設定

ローダ イメージ、キックスタート イメージ、システム イメージの工場出荷時のデフォルト コンソール設定は次のとおりです。

- Speed?9600 ボー
- 1 バイトあたり Databits?8 ビット
- Stopbits?1 ビット
- パリティか。none

これらの設定はスイッチに保存されており、3 つすべてのイメージは、保存されているコンソール設定を使用します。

コンソール設定を変更するには、コンフィギュレーション モードで line console コマンドを使用します。次の例ではライン コンソールを設定し、その端末回線のオプションを設定します。

BIOS コンソール設定は変更できません。これらの設定は、デフォルトのコンソール設定と同じです。

## スイッチのアップグレード

### 注

次の手順を実行します。

1. コンソール ポート接続でスイッチにログインします。
2. <http://www.cisco.com/>に移動し、ページ上部の [Log In] をクリックして、シスコのユーザ名とパスワードを入力して Cisco.com にログインします。注
3. [ソフトウェア ダウンロード センター](#) ( [登録ユーザのみ](#) ) に移動します。
4. Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチのソフトウェア ダウンロードに移動します。スイッチのダウンロード イメージへのリンクが表示されます。
5. 関連するイメージ ファイルのリリース ノートを参照します。
6. キックスタート ソフトウェア ファイルおよびシステム ソフトウェア ファイルを選択し、サーバにダウンロードします。
7. コピーするイメージ ファイルに必要な領域が、 bootflash: ディレクトリにあることを確認します。
8. アクティブなスーパーバイザ モジュールのブートフラッシュにさらに多くのスペースが必要な場合、不要なファイルを削除して、使用できる領域を確保します。
9. 転送プロトコルを使って、キックスタート イメージおよびシステム イメージをスーパーバイザ モジュールのブートフラッシュにコピーします。 `tftp ftp:`を使用できます。、 `SCP:`、または `sftp:`。この手順の例では `scp:` を使用します。
10. ステップ 9 でダウンロードした新しいイメージ名を指定し、新しいイメージをインストールします。 `install` コマンドでは、次の操作を実行します。指定したイメージの互換性チェック ( `show incompatibility` コマンドに相当 ) を実行します。互換性の問題がある場合はエラー メッセージが表示され、インストールは続行されません。互換性チェックの結果を表示し、インストールを中断するかどうかを表示します。プロンプトが表示され、インストールの継続または中断を選択できます。注指定したイメージを参照するようにブート変数を更新し、スタートアップ コンフィギュレーション ファイルに設定を保存します。
11. スイッチでインストールが完了したら、ログインして必要なソフトウェア バージョンがスイッチで実行されていることを確認します。

## 関連情報

- [コマンド リファレンス](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)